

「大学と地域の連携
～防災・減災に焦点を当てて～」

2012/3/2

名古屋大学の濱口道成総長、名古屋大学大学院環境学研究科の福和伸夫教授をお招きし、最高顧問の松尾稔と、防災・減災を焦点とした大学と地域の連携について鼎談を行いました。

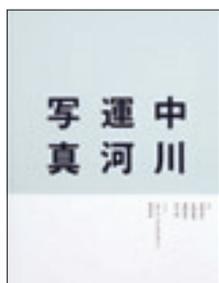


展覧会「中川 運河 写真」

2012/3/6～2012/3/18

中川運河を1年間にわたって撮影したアーティストによる写真展を開催いたしました。

この写真展に合わせて中川運河に関わった人達へのインタビューや名古屋大学堀田典裕先生の論稿「<水>と<土>のデザイン」を掲載した写真集「中川 運河 写真」が出版されました。



平成23年度第3回まちづくりセミナー
「公共空間の楽しみ ～ピクニックとまちづくり～」

2012/3/16

東京大学生産技術研究所の太田浩史講師をお招きして、「ピクニック」を通してまちがどのように見えるのか、またこの活動から見える都市の緑地・共有スペース等の空地活用の可能性などについて、ご講演いただきました。



減災まちづくりシンポジウム

2012/3/22

名古屋大学減災連携研究センターと連携して作成する、地域の災害危険度などを容易に認識できる「減災まちづくり情報システム」をデモンストレーションで紹介するとともに、自助・共助などの地域力向上についてのパネルディスカッションを行いました。



「復興 —まちを再建するつながりのカー—」

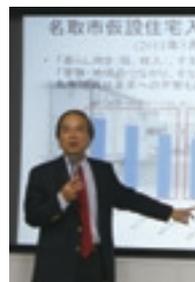
2012/3/20～2012/5/6

東日本大震災から1年が経過し、まちの復興に取り組む人々やその活動とそれらを支える人のつながりを紹介しました。被災地から離れた名古屋で、復興に対して私たちは何ができるのかを考える機会を提供する企画展を開催しました。



変形した看板が津波の威力を物語り、石巻日日新聞の壁新聞が被災時の緊迫感を伝えるものとなりました。甚大な被害を受けながらも、まちの復興や生活の再建に向かう被災地の方々の姿を写真や映像、新聞記事で紹介しました。

ホールでは、被災地の復興計画を模型で見せるアーキエイド巡回展や東北と名古屋で取り組まれている、復興を支える活動をより深く紹介する展示を行いました。まちづくり



講演会では、同志社大学の立木茂雄教授より社会学の立場から見えてきた「人のつながり」と「まちの再建」の関係について阪神淡路大震災を例に話を聞きました。また、石巻日日新聞社社長の近江弘一氏からメディアの視点から講演いただきました。

「とび出せ!だかねランド」

「だかねランド」が金山を飛び出しました。
開催された2つのプログラムを紹介いたします。

☆「作って学ぼう!シェルタードーム」 2012/3/11

シェルタードームを作りました。講師は、夏の「だかねランド」でおなじみの神戸芸術工科大学の鈴木明先生です。東日本大震災から1年がたったこの日に、多面体の性質を利用して身近な素材で作った3種類の小さなシェルターが、ナディアパークのアトリウムに並びました。



☆「だかね遠足

見て学ぶ・歴史を活かしたまちづくり」 2012/5/26

昨年6月に「重要伝統的建造物群保存地区」に選定された豊田市足助町を訪れました。講師はまちなみ保存の専門家、名古屋市立大学の溝口正人先生です。解体修理中の工事現場では、往時の姿に復原するというその大変な作業を垣間見ました。また「まちなみ」を守り、古い建物を次世代につなげていくための取り組みについても学びました。



平成23年度まちづくり活動助成団体 活動成果報告会

2012/5/19

平成23年度にまちづくり活動助成を受け、地域“魅力”アップ部門7団体、まち“夢”工事部門1団体の活動成果報告会を開催しました。

第1部は「活動成果報告」、第2部は「ポスターセッション」を行い、各団体と参加者が交流・情報交換を図る場となりました。



【第1部】活動成果報告の様子



【第2部】ポスターセッションの様子

◆発表団体：地域魅力アップ部門

紙芝居「みどり劇場」

公園紙芝居で
“顔の見える町づくり”
“支え合う町づくり”



障がいのある
子どもの父母の
ネットワーク愛知

障がいのある若者と
その家族・支援者への
「愛と性の講座」



コミュニケーション・スペース
エア ネットワーク東海
(CSネット東海)

視覚障害者が一人で街を出歩けるために、一般市民に手引き誘導できるスキルを修得させ“人がやさしい街づくり”を展開する



moms.(ママズ)

子育てママが地域をつくる
～まちづくりの一貫としての
「楽しく育てる」「みんなで育てる」
子育て応援活動セカンドステップへのチャレンジ～



名古屋活動写真

ドキュメンタリー映画
「名古屋空襲を語る」



鳴子きすなの会

学区住民の多様な出会いと活躍の舞台づくりプロジェクト～“役立ち感”を育み 郷土への愛着を高めるために～



中川運河
チャンネルアート
実行委員会

中川運河チャンネルアート
地域連携プロジェクト



◆発表団体：まち“夢”工事部門

桶狭間町内会

地域コミュニティ拠点の
改修



若いアイデアが
都心を刺激する
～魅力ある都心100のアイデア～
「なごや縁カレッジ」 2012/3作成

なごや縁カレッジの一環として、「魅力ある都心」に関するアイデアを学生から募集し、優秀なアイデアをまとめて冊子にしました。アイデアの内容としては、ソフト分野に関するものが多く、「B級グルメ」や「サブカルチャー(オタク文化)」に関するアイデアも見られました。



平成24年度 まちづくり活動助成「地域“魅力”アップ部門」選考会 2012/6/16

皆さんが生活している身近な地域を、魅力的で住みやすい環境にするためのまちづくり活動に対して、まちづくり活動助成(地域“魅力アップ部門”、“はじめの一步”部門、まち“夢”工事部門)を行っています。これまでに助成した団体数は延べ168団体となり、市民団体の活動の成果も様々な分野で生まれています。

地域“魅力”アップ部門に応募があった13団体の公開選考と、“はじめの一步”部門に応募があった11団体の書類審査の結果発表が行われました。

その結果、地域“魅力”アップ部門では7団体が採用、“はじめの一步”部門では7団体が採用されました。今後、実りあるまちづくりに向けた活発な活動の展開が期待されます。



審査結果発表



プレゼンテーションの様子



公開質疑の様子

私のお気に入りの場所

■サンクレア池下(再開発ビル) 公開空地と地下鉄池下駅東口

中部都市整備センター
丹羽 守さん



再開発ビルと地下鉄入口通路が一体的にデザインされた名古屋では珍しい都市空間。東山通りの拡幅整備に併せて市街地再開発事業手法を活用して公団住宅を建替えた、中部圏では唯一の事例である。幹線街路沿いに緑の或る歩行者空間を創出し、街に潤いを演出することが計画担当者(筆者)の意図であった。

以前は、駅前放置自転車がひどかったが、ビル管理者が知恵を絞って美化を図られており、私のお気に入りのスポットになっている。

それにしても、公共空間の快適さを維持し続けるのは難儀な事だ。